
教養講座：日本の近現代小説を読む

【講座内容】

本講座では、近代から現代にかけての日本の小説を知ることが目的とします。明治・大正・昭和・平成・令和、それぞれの時代に活躍した日本の有名な作家の小説を読んでいきます。一つの作品を1回（場合によっては2回）の授業で読みます。時間の都合上、授業では作品の一部(単行本10ページ程度)を抜粋して取り上げます。事前に作品と設問を配布しますので、目を通し、設問に対する自分なりの解答を考えてみてください。授業は、設問に対する解答を中心に進め、言語面や時代的な背景なども含めた内容理解を目指します。講座を通し多くの作品を読むことで、日本の小説を読むことに慣れ、講座終了後は自ら進んで日本の小説を読めるようになること、また、様々な作品に触れることで、日本の小説を知るだけでなく、日本文化や日本語への理解も深められるようになることを願っています。

【重点を置く学習内容】

講読、読解

【受講対象者】

本講座はオープンアカデミーの日本語クラス上級レベル以上の日本語学習者の方、日本の小説をあまり読んだことのない方が対象です。授業では語彙の意味、省略、指示語等、基本的な言語的要素も含めて学習します。日本語母語話者で日本の小説を一人で読みこなせる方向けのクラスではありません。

【テキスト】

講師作成の教材・レジュメ等を電子配布

【各回の内容（全12回）】

- 1回目：明治時代の作家の作品を読む　－夏目漱石－
- 2回目：明治時代の作家の作品を読む　－森鷗外－
- 3回目：大正時代の作家の作品を読む　－宮沢賢治－
- 4回目：大正時代の作家の作品を読む　－芥川龍之介－
- 5回目：昭和時代の作家の作品を読む　－三島由紀夫－
- 6回目：昭和時代の作家の作品を読む　－川端康成－
- 7回目：昭和時代の作家の作品を読む　－大江健三郎－
- 8回目：昭和時代の作家の作品を読む　－吉本ばなな－
- 9回目：昭和時代の作家の作品を読む　－村上春樹－
- 10回目：平成時代の作家の作品を読む　－東野圭吾－
- 11回目：平成時代の作家の作品を読む　－有川浩－
- 12回目：令和時代の作家の作品を読む　－村田沙耶香－